

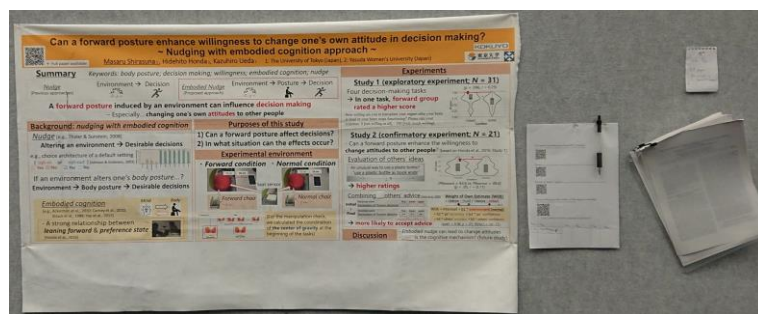
CogSci2019 会議報告

白砂 大 (所属: 植田一博研究室)

CogSci2019 は、現地時間 2019 年 7 月 24 日~27 日の 4 日間、カナダのモントリオールにて開催されました。同会議は、私にとって、3 年連続 3 度目の参加でした。私は、ポスターセッションにて発表を行いました(Shirasuna, M., Honda, H., & Ueda, K. (2019). Can a forward posture enhance willingness to change one's own attitude in decision making? ~Nudging with embodied cognition approach~)。今回は、nudge に身体性認知を絡ませたアプローチの基礎実験研究を報告いたしました。認知モデリングやシミュレーションを大々的に行ったわけではなく、CogSci の場では見劣りするのではと、当初は懸念していました。しかし、アプローチの斬新さもあってか、幸いにして、一定程度の方に興味を持って頂けたように思います。連絡先を交換し、後日ポスターの pdf を送り合うといった交流も、作ることができました。また今回は、自分にとっての新たな試みとして、補足資料などに access するための QR コードも掲示しました。ポスターの紙面のみでは掲載できる情報に限界があったため、この試みは、研究の細部を説明するうえで役に立ったと感じております。

CogSci は認知科学界のトップカンファレンスであり、国籍はもちろん、分野の枠をも超えて、多くの研究者が議論を行う場であると、私は毎年感じております。アプローチは違えど、全ての研究者が、人の認知機序の解明を目指し、日々研究を重ね、新たな知見を見出しています。認知科学の発展に貢献できるよう、私自身も研究を重ね、成果を出し続けていきたい。そのように、改めて身を引き締めました。

末筆ではございますが、今回、CogSci2019 に参加すること、また世界の研究者と議論することができたのも、本学の「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」に採択頂いたおかげです。この場をお借りして、厚く感謝申し上げます。



左: CogSci2019 スケジュール(現地の立て看板)。 右: 発表ポスター

- CogSci (cognitive science society) ホームページ <https://cognitivesciencesociety.org/#>
- CogSci2019 プロシーディング集 <https://mindmodeling.org/cogsci2019/index.html>